

ふるさとのおい

市民の皆さんに今の対馬を「感じて」いただき、私たちの「生活・生き方」を考えるきっかけになればと、本紙では平成22年4月から「環境」をテーマに様々な特集を組んできました。

経済活動と自然環境保全活動を両立させていくことは簡単なことではありません。が、「われわれ人間は自然の中で生かされていること」「人間の身勝手な“エゴ”で自然と対立してはいけないこと」を再認識し、両立できるよう歩みを進めていくことは、今を生きる私たちに課せられた大きなテーマなのではないでしょうか。

こころやすらぐ「におい」を感じる対馬へ 今こそ 原点回帰
自然豊かなこの島で「生きていけること」に感謝して....



かつて まさに自然そのものであった対馬 そのにおいは 土のにおい
雨のにおい 草のにおい 馬ぐえのにおい みどりなす稲のにおい
また こがねなすのにおい 今なぜその時代をこうまで恋うるのたろうか



『今日はいい風じゃったなあ。汐もよう引いたし、ばあちゃんの方もとつたばい』
 『俺りゃあ とこぶししかとりゃあえさつた。少しじゃんそこん爺様にも食めてくれ。』
 『なんの家ん爺様分なとちよるけ。』

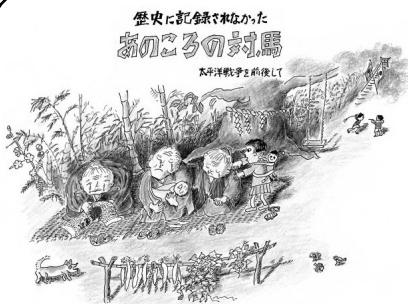
海

合理性・利便性を求めた私たちは「ほどほどに」から「もっともっと」という生活を求め、いつしか自然界の歩調を追い越していました。



森

自然界で営まれる生命のつながり。
 人間がそのつながりを断ち切ることがありませんように...



今月号の表紙と環境特集は、厳原町日吉にお住まいの藤崎利明さんにご協力いただいて作成することができました。

藤崎さんから産み出される、思わず微笑んでしまうようなやさしい絵と言葉で、あらためて私たちのふるさとを考えていただくきっかけになれば幸いです。ご協力に対し、心から感謝申し上げます。

4月1日には、なつかしい対馬の様子を描いた藤崎さんの作品「あこのころの対馬」が対馬市教育委員会から発刊されます。どうぞご覧ください。

販売金額 980円(税込) 販売場所 各地区公民館